

事務事業評価シート

(H.30)No.	1005	(H.29)No.	1005
-----------	------	-----------	------

事務事業名	郷土史編さん事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	宮前 浩幸	

会計区分	事業コード	503701
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	郷土史編さん事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 文化振興費	郷土史編さん事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	1	文化振興
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市内に関する貴重な史料・文化遺産の散逸を防ぎ、整理・保存により後世の人々に伝える意義がある。市民が「温故知新」の精神による郷土に対する愛着を育み、新たな文化創造のまちづくりを目指します。
事業内容
「名張市史」の編さん・刊行及び歴史資料の収集・整理・保存を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「市史資料編民俗」民俗調査 ・歴史資料調査・整理 ・市史だより第15号の発行 		<ul style="list-style-type: none"> ・「市史」次巻刊行準備 ・民俗調査 ・歴史資料調査・整理 ・市史だより第16号の発行 	
	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「市史」次巻原稿執筆 ・民俗調査 ・歴史資料調査・整理 ・市史だより第17号の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市史」次巻刊行 ・民俗調査 ・歴史資料調査・整理 ・市史だより第18号の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市史」次々巻刊行準備 ・民俗調査 ・歴史資料調査・整理 ・市史だより第19号の発行 		

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)	
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分				
①直接事業費		591千円		818千円	3,000千円	6,000千円	2,000千円	
内訳(千円)	国・県支出金							
	地方債							
	その他()		66		58	50	250	100
	一般財源	0	525	0	760	2,950	5,750	1,900
人工数	職員		0.30人		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人
	臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	2,220千円	0千円	3,700千円	3,700千円	3,700千円	3,700千円	
①+②総事業費	0千円	2,811千円	0千円	4,518千円	6,700千円	9,700千円	5,700千円	

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
出前トーク、講演会等を年間21回開催し、569人の参加がありました。これにより郷土の歴史及び本事業の周知を図り、市民の関心を高めることができました。各地域活動において、地域の文化や歴史的遺産の再評価がされる中で、市史や収集資料が活用されています。今後も史料の所在調査、伝統文化行事等の記録保存等で地域との連携を図っていきます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
鈍化している市史刊行状況を財政状況も加味しながら検討していきます。また、資料収集の強化、市民ニーズに即応できる郷土資料館機能の強化にも取り組んでいきます。次巻以降の刊行に向けて、業務の性質上、専門的な知識を有する職員を含めた事務局体制の強化、人材の育成を検討していきます。	